# 平成30年度助成対象事業選定結果一覧

1　高等教育機関　　（単位：円）

| 番号 | 事業名 | 所属機関 | 実施者名 | 事業概要 | 新規継続 | 交付決定額 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | いわき市・福島県の中堅・優良企業の強みの研究3 | いわき明星大学 | 教授<br>土谷　幸久 | 福島県内のイノベーション・コースト構想補助金受給企業等に対し、企業訪問（インタビュー調査）により各企業の強みや取引先企業との関係性について理論化し、書籍等にまとめ、発表する。 | 3 | 613,844 |
| 2 | 地層処分施設におけるベントナイト緩衝材の力学特性の把握 | 福島工業高等専門学校 | 准教授<br>金澤　伸一 | 高レベル放射性廃棄物の処分施設に緩衝材として使用されるベントナイトについて、放射性廃棄物の崩壊熱や飽和度による力学特性の把握を行うため、実験設備の整備及び解析コードの高度化を行う。 | 新 | 1,977,344 |
| 3 | 会津方言の保存とディープラーニング | 公立大学法人<br>会津大学 | 教授<br>ウィルソン　イアン | 人工知能を使用したディープラーニングにより会津地方の方言を分析し、識別するアプリケーションを開発することで、会津方言の認知度を高め、ひいてはその保存に資する。 | 新 | 1,470,152 |
| 4 | PROVITを用いたプログラミング言語理解のサポート事業（2） | 公立大学法人<br>会津大学 | 上級准教授<br>黒川　弘国 | プログラミング言語の可視化ツール「PROVIT」を用いた指導教材を作成するとともに、そのサポート体制を確立し、無料利用可能な学習支援環境を構築する。2年目であるH30年度は自主学習用の環境整備を行う。 | 2 | 1,094,000 |
| 5 | 葛尾村でのエゴマ栽培による地域活性化事業の推進 | 郡山開成学園<br>郡山女子大学 | 講師<br>郡司　尚子 | 避難指示解除後の葛尾村の収入源確保に向けて、同村におけるエゴマ栽培の最適化、葉や種子を利用した商品開発を検討するとともに、学生と村民が交流することにより、村の活性化を図る。 | 新 | 1,100,000 |
| 6 | 機能性伝統食材を活用した体脂肪改善の体験活動と健康増進リーダー育成 | 公立大学法人<br>会津大学<br>短期大学部 | 教授<br>左　一八 | 会津産食材の体質改善機能を検証し、それを活用した学校給食メニューを開発、提供する。同時に、児童に身体指標を測定させることで、健康増進のみならず郷土の食文化に対する意識向上を図る。 | 新 | 1,677,000 |
| 7 | 大学・中学連携による、植物を用いた塩害土壌修復と植物バイオマスの再エネ化 | 国立大学法人<br>福島大学 | 教授<br>杉森　大助 | 福島大学と渡利中学校が連携し、植物を用いた塩害土修復と、植物バイオマスの再エネ化、ポルサイトを活用したセシウムの吸着などを研究する。中学生も学会に参加させるなどし、本県の未来を担う理科系人材の育成にも寄与する。 | 新 | 1,998,680 |
| 8 | 鈴木義男の憲法思想と日本国憲法の誕生−日本国憲法制定に貢献した知られざる福島県の偉人 | 国立大学法人<br>福島大学 | 准教授<br>金井　光生 | 白河市出身の憲法学者である鈴木義男が、日本国憲法の制定にいかに寄与したかを研究し、その成果を県民に広く知らしめる。関連書籍の分析をすすめ、一般向けのリーフレットを作成し、市民講座などでの活用を目指す。 | 新 | 980,000 |
| 高等教育機関　計 | | | | | | 10,911,020 |

2　初等・中等教育機関及びその他団体　　（単位：円）

| 番号 | 事業名 | 所属機関 | 実施者名 | 事業概要 | 新規継続 | 交付決定額 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 9 | インクルーシブ教育実現に向けた通常学級における障がいのある児童への「合理的配慮」の提供に関する研究～聴覚に障がいのある児童への「合理的配慮」を通した他の多様性のある児童への応用の試み～ | 石川町立野木沢小学校 | 校長<br>三浦　孝一 | 聴覚障がい児童が学ぶ学級におけるインクルーシブ教育に向けた「合理的配慮」についての研究。騒音の防止や教師の声がダイレクトに届くシステムの開発などの環境設定が、聴覚障がい児に与える影響などを考察する。 | 新 | 1,059,619 |
| 10 | 物理現象における原理のビジュアル化及びデータベース化（2年目） | 福島県立テクノアカデミー郡山職業能力開発短期大学校 | 校長<br>岡部　隆 | 物理現象のシミュレーション動画等を作成してビジュアル化することにより、子どもたちの自然科学への興味や理解を深める。今年度は南会津地区の中学校で20回程度の体験授業を実施することや、シミュレーションへのAR技術、VR技術の導入などを検討している。 | 2 | 657,450 |
| 11 | 高大連携による生徒探究活動教育の実践的研究 | 福島県立福島西高校 | 校長<br>井関　和明 | 新しい学習指導要領や、高大接続改革に対応するため、高校と大学とが連携した探究活動を研究する。高校生が大学に出向いて研究活動に参加することや、理化学研究所における研修などを行い、その成果を研究大会や研究集録において公表する。 | 新 | 893,460 |
| 12 | 生徒の学びに向かう力を育成するICTを活用した授業改善 | 福島県立<br>保原高等学校 | 校長<br>安田　徹 | 少子化により学校の魅力化が求められている中、ICTの活用等を通した先進的な取組を研究する。全教科の教員が参加する校内研究会、地域の教員も自由に参加できる教育実践研究会などを行い、研究のまとめを作成して公表する。 | 新 | 1,347,523 |
| 13 | 工業高校と連携した肢体不自由児の支援機器製作事業（2年次） | 福島県立郡山支援学校 | 校長<br>郷家　俊哉 | 郡山北工業高校と郡山支援学校が連携して肢体不自由児のための支援機器を製作し、肢体不自由児の学習効果の向上及び工業高校生徒の障がい者理解、技術向上などを図る。今年度はスヌーズレンという多重感覚刺激教材を作成する。 | 2 | 1,174,689 |
| 初等・中等教育機関及びその他団体　計 | | | | | | 5,132,741 |
| 合計 | | | | | | 16,043,761 |